2019コープあおもり

開催期間
2019年10月7日(月)
～11月9日(土)

わいわいコープのつどい

開催日・会場は折り込みチラシでお知らせします お楽しみに！

スマートフォンでつどいや生協のイベント情報が見られます。
パソコンからもスマートフォンからも
QRコード
コープあおもり で検索 検索
https://www.aomori.coop/

今回の話題商品！

エシカルなお買物
～それは誰かの笑顔につながるお買い物～

コープのエシカル ethical

エシカルってな～に？

エシカル(ethical)とは英語で「倫理的」という意味です。
生協では、「エシカル消費」を「地域や社会、環境や人々に配慮して、モノやサービスを選んで買う消費」と位置づけ、多くの組合員のみなさんが日常のお買い物を通じて参加できるように取り組んでいます。私たちが買い物のしかたを考えることが社会貢献や環境を守り、誰かの笑顔につながります。

エシカルなコープ商品

地域 | 豊かな地域を作り出す

産地指定

主要な原材料に産地や栽培方法が明らかな国産素材を使用しました。

国産素材

主要な原材料に国産素材を使用しました。

環境 | 地球の環境を守り続ける

海の資源を枯渇させないよう、獲る量や漁場・漁の時期に配慮した原料を使っています。

MSC認証マーク

森の資源を守るため、適切に管理された森林資源で作られたパッケージを使用しています。

FSC www.fsc.org FSC® N001819 責任ある森林管理のマーク

社会 | 公正な社会の仕組み

地球の飢餓を救え。WFP 国連世界食糧計画

CO·OP×レッドカップキャンペーン

飢餓に苦しむ子どもたちに給食を

全国の生協での募金額
21,113,502円(2014年～2018年)

コアノンスマイルスクールプロジェクト

アンゴラ共和国の学校づくりを支援します。

全国の生協での募金額
84,871,195円(2010年～2018年)

※2018年1月1日の米ドル換算レートで計算(1ドル未満切り捨て)

人々 | 自立する人々

ピンクリボン

乳がんに対する啓発と支援に、コープ化粧品とピンクリボン運動支援自販機で取り組んでいます。

J.POSH 日本乳がんピンクリボン運動

※各店舗に設置しています。

世界共通のピンクリボン月間である10月に合わせ、コープ化粧品で寄付を行います

コープ化粧品いずれか1品をお買い求めください ▶ 1品につき1円を認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)へ ▶ 乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます

2018年度コープ化粧品の募金総額123万7,419円
(期間 2018年6月1日～11月30日)

環境 持続可能なパーム油の生産を支援！

インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農園の持続可能な生産を支援するプロジェクトを支援します。

コープの洗剤環境寄付キャンペーン

2010年よりスタートした取り組みです。2017年までに「ボルネオ緑の回廊」プロジェクトや地域の環境団体へ46,218,649円が寄付されました。

コープの洗剤を購入することで、環境団体への寄付を行う取り組みです。

2019年度期間
2019年5月21日～2020年5月20日

対象商品を1品お買い求めください。
▼
1品につき0.5円を環境団体に寄付
▼
持続可能なパーム油の生産を支援する活動につながります。

キャンペーン対象商品の一例

CO-OP セフター ENERGY(エナジー) 抗菌・防臭
CO-OP セフター ENERGY(エナジー) 強力洗浄
CO-OP セフターE 簡易パック 1個

※対象商品の一例です。

小規模パーム農園の持続可能な生産を支援とは

©WWFジャパン

コープの洗剤にも使われるパーム油。その原料であるアブラヤシを生産する農園開発が、ボルネオの森林喪失の大きな原因になっています。そういった農園に、適切な農薬・肥料の使い方や、労働安全や農園管理の方法などを教え生産性を高める支援を行うことで、保護価値の高い森林破壊の防止をめざしています。

パーム油は世界で、一番使われている植物油です

パーム油は、1年中作れて、食品や日用品など、いろいろなものに使われているので、スーパーに並ぶ商品の約50%はパーム油を含んでいると言われています。

どんな木からできるの？

木の名前	アブラヤシ
寿命	25～30年
高さ	20メートル以上
果房の重さ	20～40キロ
果房が実るまで	3年

アブラヤシの実と種から採れる油です。

組合員どうしのおしゃべりから、いろいろな情報交換ができて楽しい… 誰でも気軽に 参加できる場が「コープのつどい」です。お待ちしています。

191002662

～平和とよりよいくらしのために～

世界から核兵器をなくしましょう。
2020年NPT再検討会議がニューヨークで開催されます。

生協が平和活動に取り組む理由

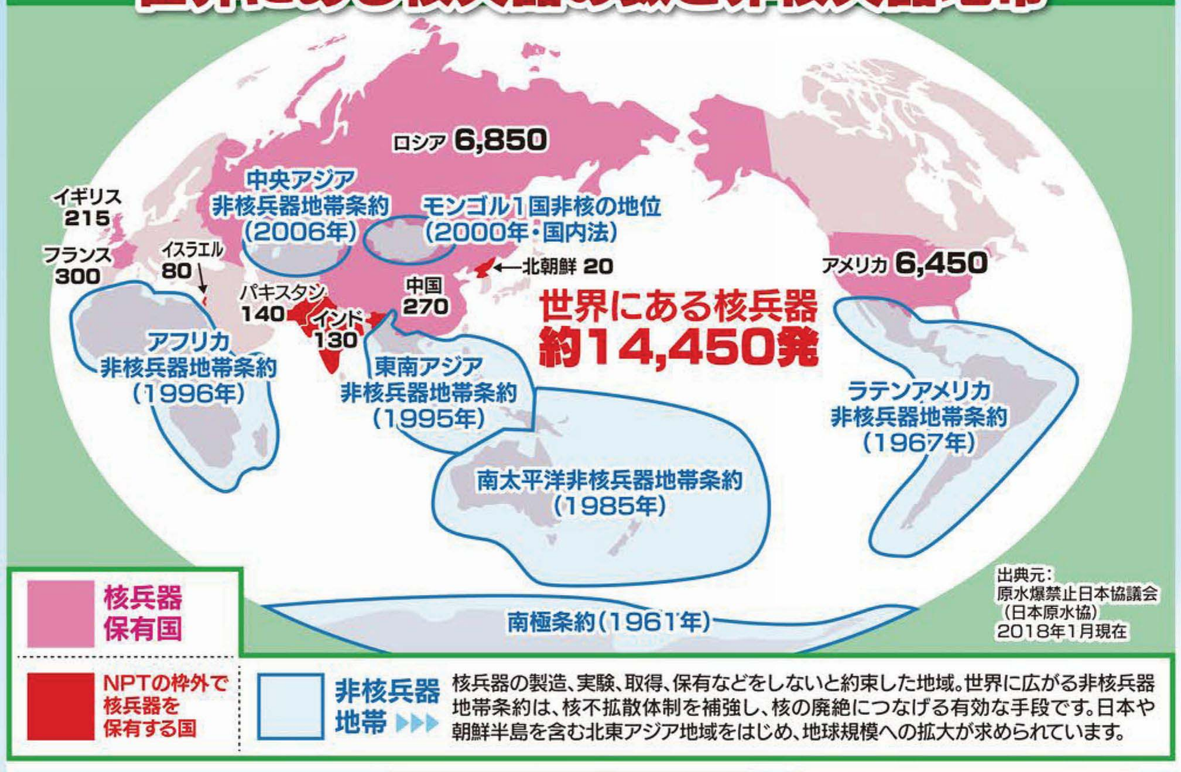
日本は、悲惨な戦争を体験しました。「戦争(紛争)」はいのちと暮らしを守り、人とひとのつながりを大切にするという生協の願いを踏みにじり、力の弱いもの(子どもや女性、お年寄りや障がい者)に対して、より過酷な現実をつきつけました。こうした経験を踏まえて、生協は、核兵器や戦争の悲惨さなどを学び継承し、二度と戦争を繰り返さないことを目指して、平和活動を推進しています。

NPT(核兵器不拡散条約)とは

核兵器保有国が増えて核兵器が世界に広がる事を防ぐ目的でつくられた核兵器削減に向けた国際条約のひとつです。5年に一度、NPT加盟国がニューヨークの国連本部で「再検討会議」を開催し、条約が守られているかチェックしています。

2000年	核廃絶への「明確な約束」など軍縮に関する13方策を盛り込んだ文書を採択
2010年	核廃絶への64の行動計画などを盛り込んだ文書を採択-オバマ大統領『プラハ宣言』等
2015年	核軍縮をめぐる対立や中東問題等多くの課題があり、合意文書は成立しませんでした。

世界にある核兵器の数と非核兵器地帯



再検討会議における被爆者の活動 生協の支援活動

再検討会議開催期間中に被爆者団体協議会(被団協)を始めとする多くの団体が、平和行進や署名活動などをします。
全国の生協から派遣される代表団は被爆者の活動のサポートをします。予定の確認、移動の際の介助です。

2015年 コープあおもり作成の横断幕を持って行進。

核の状況

世界の核弾頭の総数は約14,450発

ロシア	6,850発(47.4%)
アメリカ	6,450発(44.6%)
フランス	300発(2.1%)
中国	270発(1.9%)
イギリス	215発(1.5%)

※NPTで核保有が認められた国

イスラエル	80発(0.6%)
パキスタン	140発(1.0%)
インド	130発(0.9%)
北朝鮮	20発(0.1%)

※NPTで認められていないが核保有している国

私たち一人ひとりにできること　あなたも参加しませんか

もっと知ろう、聞こう、話そう。
核廃絶にむけての動きやNPT再検討会議について

ヒバクシャ国際署名
署名をしよう。呼びかけよう。

「核兵器ゼロ」を求める声を核保有国に届けよう。

2019年8月～2020年2月 つどい・企画で募金をしよう。
再検討会議開催期間中に被爆者の方と青森県生協連の代表2名を派遣します。活動をサポートする募金に取り組みます。

「核なき世界へ」一人ひとりが平和について考え継承して行きましょう！